ロシアによるウクライナ侵攻に対する抗議声明

去る２月２４日から始まったロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻に対し「世界連邦都市・非核宣言都市」の宣言を行った、世界の恒久平和を願う都市として、抗議の意思を表明するものであります。

ロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻により、ウクライナ全土の人々が直面している戦争の現実を到底看過することはできません。一瞬にして日常が破壊され、家族を失い、戦火に怯えつつ暮らすことを余儀なくされている人々の苦境は計り知れません。また、子どもを含む多くの市民が犠牲になっています。

さらに過日、ロシアは核保有国であることを誇示し、核兵器使用を示唆するような報道がありました。これは、世界連邦都市・非核宣言都市を掲げる桜井市民として強い憤りを感じます。

今回の暴挙は、明らかに国際法に違反し、国際社会の平和と秩序、安全を著しく脅かす行為であり、断じて許すことはできません。ウクライナへの軍事行動を即座に停止し、軍部隊を撤収させ、国際法を順守し、外交による解決を図るよう強く求めるものであります。

私は、桜井市民を代表し、今回の一連の軍事侵攻に対し厳重に抗議するとともに、一刻も早い平和的解決に向けた外交努力を強く求めます。

また、武力による紛争を許さない平和な世界の建設は、地球上すべての人々の共通の願いであります。『世界連邦都市・非核宣言都市』を掲げる桜井市として、ウクライナの人々が平和な暮らしを取り戻されることを切に願っています。

令和 ４年 ３月 ９日

桜井市長　松 井 正 剛